

資 料 編

市民アンケート調査結果

1 調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、環境施策を総合的かつ計画的に推進するため、環境施策の基本方針となる「第2次豊後高田市環境基本計画」の策定のための基礎調査を目的としてアンケート調査を行ったもので、その中に地球温暖化対策に関する設問を含めて実施しました。

(2) 調査方法

①調査対象者	市民(18 歳以上の市民の中から1,000 人を無作為抽出)	高校生(高田高等学校2年生 115 人)
②調査方法	・依頼方法 郵送 ・回答方法 郵送又はWEB	・依頼方法 高田高等学校へ配付 ・回答方法 WEB
③調査期間	令和6年 10 月7日～令和6年 10 月 31 日	

(3) 回収率

調査対象者	回収率 (回収人数)	備 考
市 民	50.1% (498 人)	6人分は「宛て先不明」で返送されたため、全体の人数を 994 人で算定(郵送:380 WEB:118)
高校生	93.0% (107 人)	

2 分析と考察(地球温暖化対策に関する問9～問 13 のまとめ)

今回のアンケート結果から、市民と高校生ともに地球温暖化に対して、高い関心が伺え、地球温暖化の原因として「人間の快適な生活を送るための大量のエネルギー消費」によるものと考えている人が市民、高校生ともに多いことがわかります。

また、地球温暖化による生活への影響をほとんどの方が感じており、「気温の上昇」を選んだ人が市民、高校生ともに最も多くなりました。その他の影響については、市民の方が影響を感じている人が多く、日常生活の中で、「気候変動」や「生態系の変化」等についての影響を直接受ける機会が多いことが原因と考えられます。

効果的な対策としては、「環境教育の推進」や「再生可能エネルギーの普及」、「ごみ減量とリサイクルの推進」が効果的と考えられており、特に市民の評価が高くなっています。

一方で、不安要因として「経済的負担」や「取組みの効果が見えにくい」、「再生可能エネルギーが環境に与える影響」などが挙げられ、特に高校生は「省エネに取り組むことへの疲れ」を強く感じていました。

これらの結果を踏まえ、今後の政策や環境教育において、年齢層ごとに適切な対策とサポートが必要であることが示唆されます。

3 アンケート結果

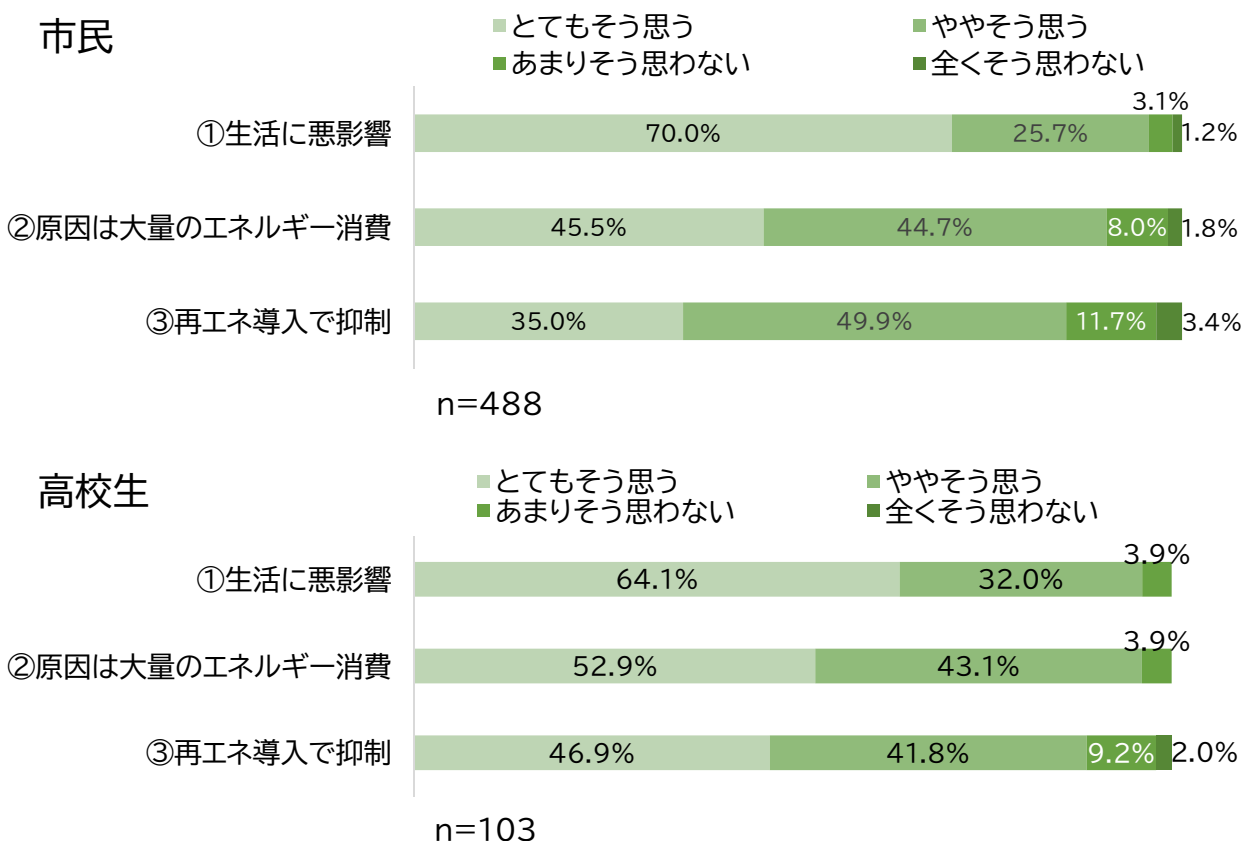
※n=各設問の総回答者数

問9 地球温暖化に関する以下の①～③の設問について、あなたの考えに最も近い番号に 1 つだけ○をつけてください。

全体としては、市民と高校生の間で回答に大きな差はありませんでした。

市民、高校生ともに、私たち人間が快適な生活を行うことが原因で地球温暖化が進行し、私たちの生活に悪影響を与えている。そして、解決に向けては、省エネや再生可能エネルギーの取組みが効果的と考えています。

双方の違いとしては、高校生の方が地球温暖化の原因や解決策においてより強い考えの方が多いという結果となりました。

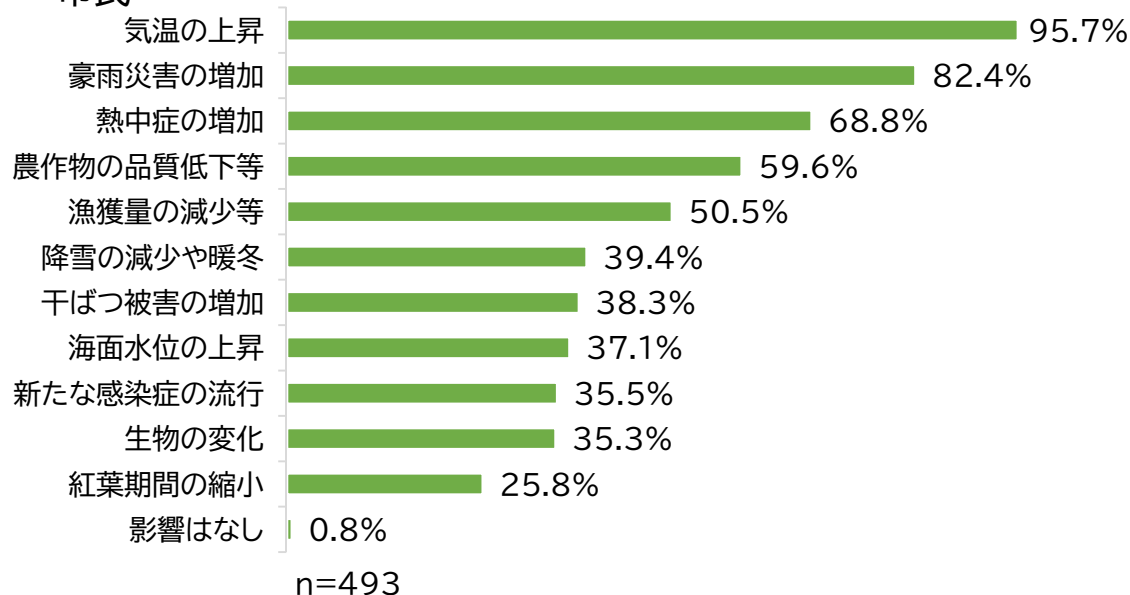


問 10 日常生活を送る中で、地球温暖化の影響がすでに現れていると思う項目について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

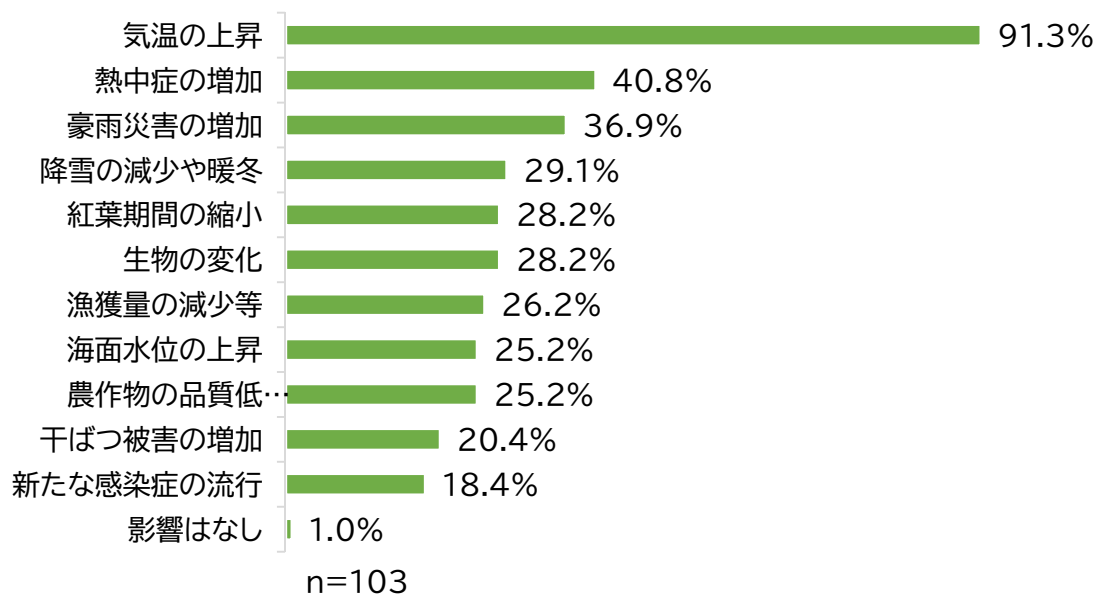
「気温の上昇」は市民、高校生の間で広く認識されていますが、「極端な気象現象」や「熱中症の増加」については、市民の方がより強く影響を感じています。

また、「農作物の品質低下」や「生態系の変化」については、市民がより高い認識を持っていることがわかります。これは、市民が日常生活や経済活動においてこれらの影響を直接受けていることが原因と考えられます。

市民



高校生

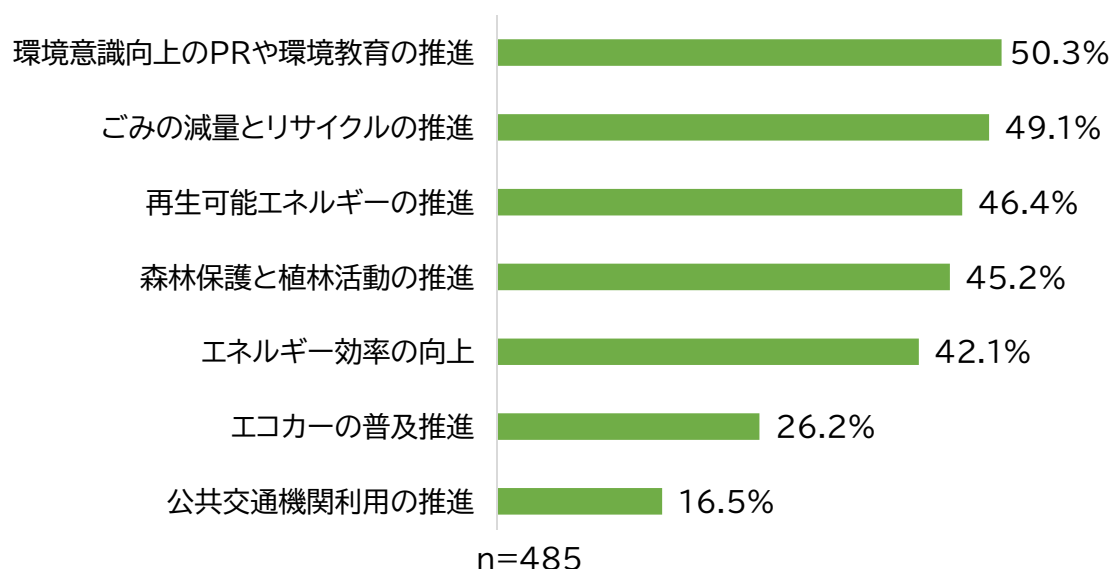


問 11 地球温暖化対策として、とくに効果的だと思う施策を3つまで選んで
番号に○をつけてください。

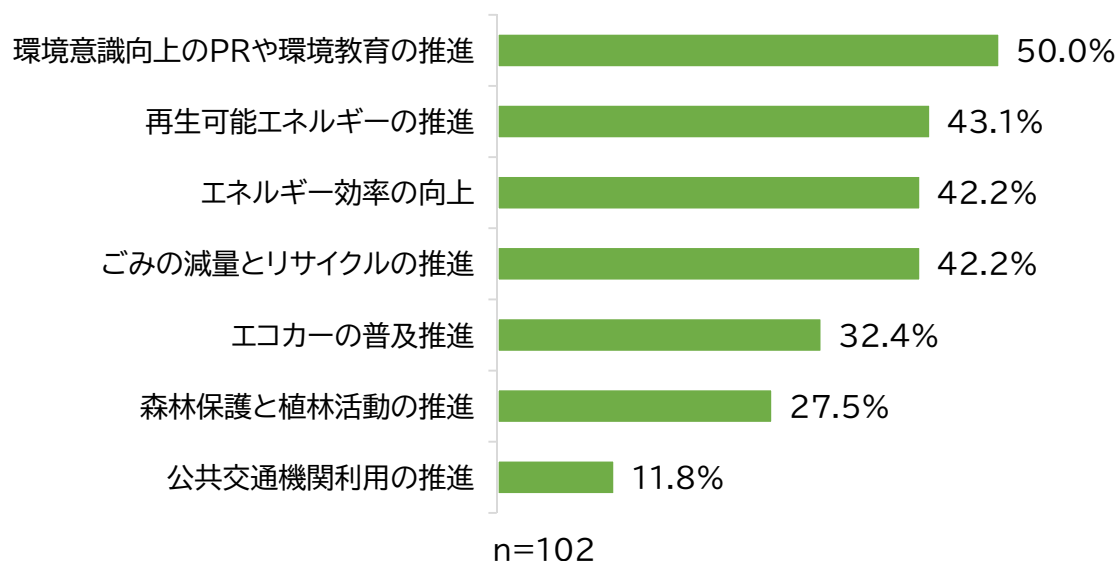
「環境教育の推進」や「再生可能エネルギーの推進」、「ごみ減量とリサイクルの推進」が市民、高校生ともに効果的な施策と考えています。

一方で、「森林保護と植林活動の推進」については、市民の方が高く評価しています。これまでの設問では高校生の方が「みどりの豊かさ」について重点を置いていたものの、地球温暖化対策としての評価はあまり高くないという結果となりました。

市民



高校生



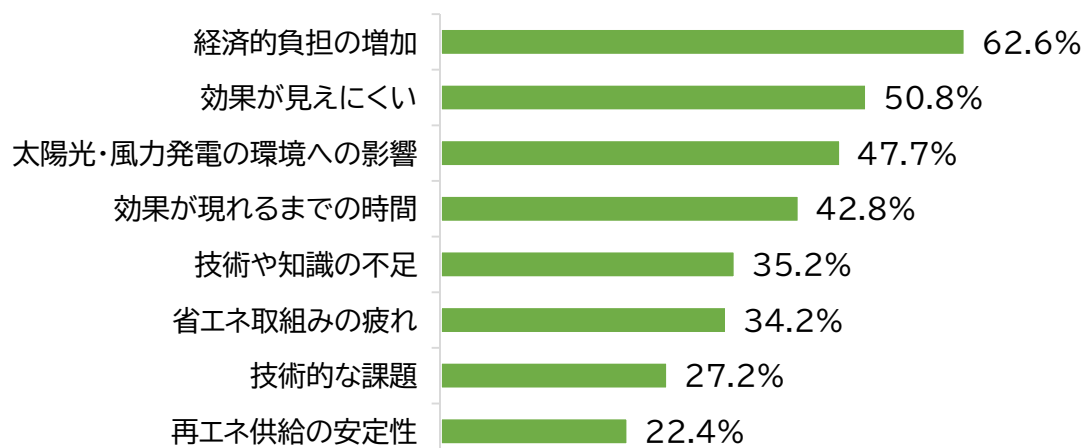
問 12 今後、地球温暖化対策を進めていく上で不安に感じることにについて、
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

全体として、市民と高校生の間で回答に大きな違いが見られます。これは、年代の違いや高校生であることが明確に反映された結果だと考えられます。

市民では、「経済的負担」や「効果が見えにくい」、「再生可能エネルギーが環境に与える影響」が大きな懸念となっています。

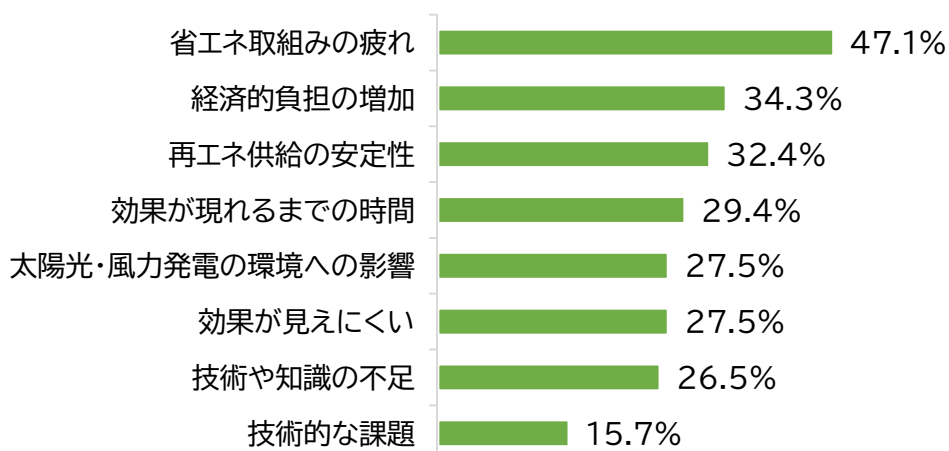
一方、高校生では、「経済的負担」も上位に挙げられているものの、「省エネ取組みによる疲れ」が最も大きな懸念となっており、高校生の生活に直接関連する項目が顕著に現れています。その他の項目については、市民に比べて高校生の回答率が低くなっており、これは、高校生の生活実態からイメージし難い内容であったことが原因と考えられます。

市民



n=486

高校生



n=100

問 13 地球温暖化対策としてあなたができると思う取組みについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(すでに取り組んでいる場合も○)
※市民のみを対象として調査

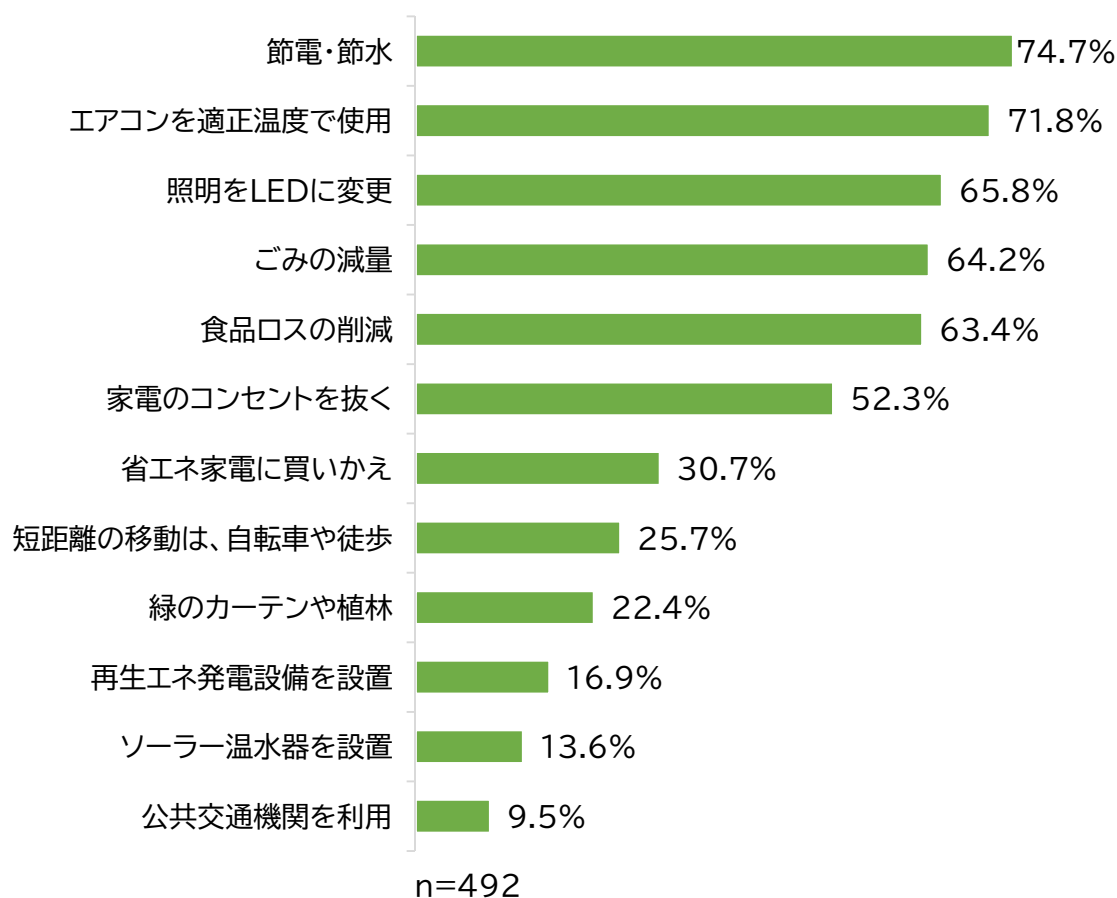
「節電・節水」や「LED 照明への変更」、「ごみの減量」等は、それらに係る労力や経済的負担も少なく、日常生活の中でも身近な行動のため、多くの市民が実践しやすい取組みとなっていると考えられます。

一方で、「省エネ家電の買い替え」や「再生可能エネルギーの設置」等は、経済的負担が大きいため、実践しにくい取組みであると考えられます。

また、「自転車・徒歩での移動」や、「緑のカーテン」等は、ある程度の労力が必要で、多くの市民は、普段から習慣づいていない行動であるため、実践しにくい取組みであると判断されていると考えられます。

「公共交通機関の利用」については、本市の地理的状況から、ほとんどの家庭で自家用車での移動が日常であるため、取組みが進んでいないことが考えられます。

市民



豊後高田市の地球温暖化対策の取組内容と担当部署

担当部署	取組内容
総務課	庁舎の省エネ化、市有施設エネルギー管理標準の整備
財政課	物品等競争入札参加資格申請電子化
企画情報課	公共交通機関の利用促進、OA 機器の省エネ化、手続きのオンライン化、庁内の節電対策、市報のスリム化
市民課	LED防犯灯設置補助事業
商工観光課	EV用充電器設置、観光施設の再エネ設備の設置又は省エネ化、
建設課	CO ₂ 吸収量の高い街路樹の植林、道路照明の LED 化
都市建築課	公共建築物の省エネ基準への適合及び公共施設 ZEB 化の助言
上下水道課	終末処理場照明設備 LED 化事業、終末処理場水処理設備工事
地域総務一課	庁舎の省エネ化
地域総務二課	庁舎の省エネ化
教育総務課	教育施設の再エネ設備の設置又は省エネ化
農業振興課	環境保全型農業(有機農業者)の支援
耕地林業課	未整備森林の解消促進(伐採・植栽等)
農業地域支援室	土壌中の CO ₂ 吸収作物(カバークロップ)作付けの支援
水産・地域産業課	沿岸浅海域における藻場の保全と拡大
環境課	省エネ・再エネ等の各種支援制度の普及啓発、資源ごみの分別促進、生ごみ減量の促進、ごみ分別DXの推進、環境教育の推進、緑のカーテンの推進、プラスチックごみの削減、置き配プレート配付